

妻の働きかけで「イクメン」に



子どもをおなかで温める  
父親マウス(東田陽博・  
金沢大特任教授提供)

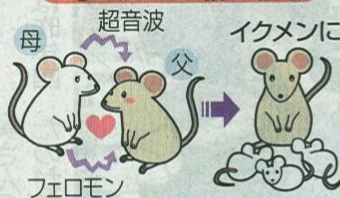
マウスの育児  
随夫唱婦

金沢大チーム

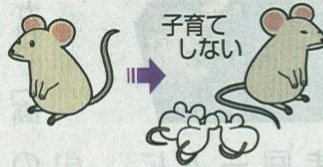
普段はほとんど育児を手伝わない父親の雄マウスでも、母親の雌マウスが音やフェロモンを出すと率先して子育てするようになることを、金沢大の東田陽博特任教授らのグループが突き止め、九日付の英科学誌「ネイチャー・コミュニケーションズ」電子版に発表した。母親マウスからの働き掛けがないと育児を放棄し続けたという。

父マウスの子育て実験

母マウスと一緒にいる場合



母マウスと隔離した場合



東田特任教授は「人間の子育てで大切なのは、夫婦のコミュニケーション。マウスでも同じことが示された」と話している。家族を同じ飼育箱に入れておいた後、両親をそれぞれ別の飼育箱に入れ、父親が子育てするかを判断した。隔離中、父親が子育てをしないことが判明した。その後、父親と子どもだけの環境にし、父親が子育てするかを観察した。隔離している間、父親が一緒に子育てをしないことが判明した。六割の父親が子育てをした。一方、隔離中、父親が子育てをしないことが判明した。